

市長と市議会

11月13日は

市民がカエル日



市民の声で動く新しい政治の扉を開こう

ただでさえ生活がたいへんなのに、水道料の値上げなんてとんでもない!

つくバスの停留所がもっと近くにほしい。利用者が増えて関鉄バスになって料金が高くなった。納得できない。

高学年になると学童保育にいけなくなる。こまる。もっと増やしてほしい。



身近なところに介護の支援センターがほしい。いまの場所は遠くて、送り迎えが大変。

朝、路線バスにのりきれなくて、何キロも歩いて通う子どもがたくさんいます。定期代の負担も大きい。スクールバスを通して。



高校生になってもケガやアトピー治療で病院に行くことが多い。医療費を高卒まで無料にしてほしい。

年金が減って苦しい。国保や介護保険料の負担が重すぎる。なんとかしてほしい。



子どもはいろいろな病気にかかる。600円でもたいへん窓口負担をなくしてほしい。

住民投票で運動公園をやめさせた、この成果をムダにしたくない。新しい市長を誕生させて、市政も変えたい。

財源はあります

- 財政調整金33億円はじめ、ためこみは110億円。
- 人口が増え、毎年3~5億円の収入増。



税金のムダづかいはやめてほしい。市民の暮らしに役立つようにして。

みなさんの願い実現へがんばります

日本共産党

は3人の市議団で

市議会に
なくてはならない
3議席

日本共産党 をのばして 市民の声が生きる新しい政治へ

国・県いいなり
市民無視の古い政治から



市民と野党の共同を広げる党 住民投票の成果を生かして 市政を前に動かします

新潟に続いて

さきの新潟県知事選では、「再稼働ノー」の願いにこたえ、市民と共産党などの野党が共同で推した候補が、自民党・公明党の候補に勝利しました。日本共産党をのばすことが、住民投票の成果を生かし、野党と市民の共同の力を大きくする一番の近道です。

- 「年金カット」法案を廃案に
 - 安保法制・戦争法廃止、安倍改憲ノー
 - TPP批准強行ストップ、徹底審議を
 - 再稼働反対、東海第二原発は廃炉へ
- 国政の問題も、「どの党、どの人を選ぶか」の大事な選択肢。「安倍改憲ノー」「TPP慎重審議」「原発再稼働反対」は、どの世論調査でも国民多数の声です。日本共産党をのばして、安倍内閣の暴走政治に、つくば市から「ノー」の声を示しましょう。

安倍政権の暴走政治と対決する党 国にハッキリものをいい くらしと地域、平和を守ります

みなさんとめざします

1. 市民のくらし、福祉、教育の充実を大切に、最優先の課題とする。
2. 地元の農業と各分野の産業の育成を土台に地域経済振興をはかる。「地産地消」の普及、「地域経済循環」の構築、再生可能エネルギーの普及、科学技術振興との連携強化等で、雇用の創出、新産業の育成をすすめる。
3. つくば市の自然景観、文化・伝統を大切に継承する。
4. まちづくり、地域づくりにより地域住民の意見反映と参加を広げ、ふるさとづくばを形成していく。
5. 市民に開かれた市政と市民参加をはかる。

国の悪政がふきあられ、市民のくらしが大変なときこそ、地方自治体が「くらしの防波堤」としてがんばるときです。水道料、国保、介護保険料など、くらしの負担増に市議会でも反対してきた日本共産党。この党をのばしてこそ、くらしを守る力が大きくなります。

市民負担軽減、くらしを守る党 水道料、国保税、介護、保育料など 負担軽減へ力をつくします

現市長・自民党の陣営——
「カエルツクバの代表は共産
党になった」のデマ宣伝

市民と野党の共同を分断しようとする卑劣な攻撃です

カエルツクバの代表は、住民投票で広がった超党派の共同を重視し、どの政党にも推薦を求めています。日本共産党は推薦をせず、「市民第一の市政の実現」にむけて、保守系の方も含めて党派をこえたみなさんと

力をあわせています。「共産党になった」などの宣伝は、政策の競い合いではなく、デマで市民と野党の共同を分断しようとするものです。このような卑劣な攻撃をする陣営に、しっかりと審判を下しましょう。